

# 服薬指導ガイド

処方箋医薬品 注意－医師等の処方箋により使用すること

広範囲経口抗菌製剤

日本薬局方 レボフロキサシン錠

## レボフロキサシン錠250mg「CEO」・錠500mg「CEO」 LEVOFLOXACIN TABLETS

レボフロキサシン錠250mg「CEO」・錠500mg「CEO」の  
用法・用量は、**レボフロキサシン錠100mgの用法・用量と  
異なります。**

レボフロキサシン 錠250mg「CEO」・錠500mg「CEO」	レボフロキサシン 錠100mg
<p>通常、成人にはレボフロキサシンとして1回500mgを<b>1日1回</b>経口投与する。なお、疾患・症状に応じて適宜減量する。</p> <p>肺結核及びその他の結核症については、原則として他の抗結核薬と併用すること。</p> <p>腸チフス、パラチフスについては、レボフロキサシンとして1回500mgを<b>1日1回</b>14日間経口投与する。</p>	<p>通常、成人に対して、レボフロキサシン水和物として1回100mgを<b>1日2～3回</b>経口投与する。</p> <p>なお、感染症の種類および症状により適宜増減するが、重症または効果不十分と思われる症例にはレボフロキサシン水和物として1回200mgを<b>1日3回</b>経口投与する。</p> <p>レジオネラ肺炎については、レボフロキサシン水和物として1回200mgを<b>1日3回</b>経口投与する。</p> <p>腸チフス、パラチフスについては、レボフロキサシン水和物として1回100mgを<b>1日4回</b>、14日間経口投与する。</p> <p>炭疽、ブルセラ症、ペスト、野兔病、Q熱については、レボフロキサシン水和物として1回200mgを<b>1日2～3回</b>経口投与する。</p>

レボフロキサシン錠250mg「CEO」・錠500mg「CEO」の処方の際には、下記事項にご注意頂き、患者さんへの服薬指導（指示された用量を必ず1日1回で服用すること）をお願い致します。

レボフロキサシン500mgの1日1回投与は、PK-PD理論に基づいた「治療効果の向上」と「耐性菌の出現抑制」を目的とした投与方法です。**主治医に指示された用量を1日1回、正しく服用するよう、患者さんへお伝えください。**

# レボフロキサシン錠250mg「CEO」・錠500mg「CEO」 を服用する患者さんへ

このお薬は、感染を起こした時にその原因となった細菌の増殖をおさえ、殺菌作用を示します。医師または薬剤師の指示に従い、正しく服用してください。

## このお薬を服用する時の注意点

- 感染症の原因となった細菌を早く消失させ、症状を早く改善するために、**このお薬は、必ず「1日1回」で服用してください。**
- 飲み忘れた場合は、気がついた時にできるだけ早く1回分を服用してください。ただし、次の服用時間が近い場合（次の服用時間まで8時間未満）は忘れた分は服用せず、次の服用時間に1回分服用してください。
- 絶対に2回分をまとめて一度に服用してはいけません。**
- 間違えて多く服用した場合は、すぐに主治医または薬剤師に相談してください。
- 医師の指示なしに、ご自分の判断で服用する回数や量を変更したり、服用を止めたりしないでください。



その他わからないことや  
気になることがありましたら、  
医師または薬剤師に  
ご相談ください。

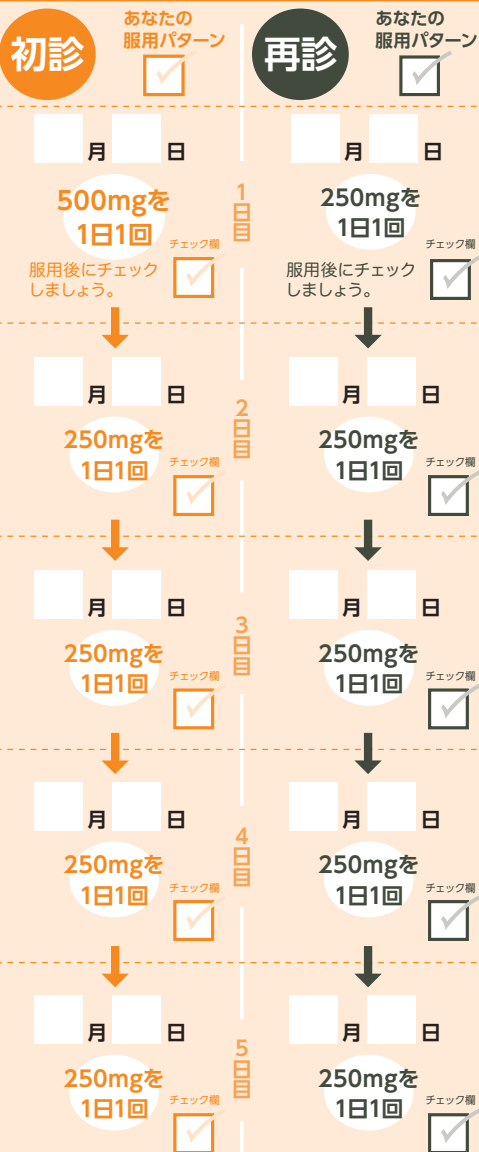


病・医院名

# 腎臓の働きが弱くなっている患者さんへ

腎臓の働きが弱くなっている場合は、お薬の服用量を調整することが必要です。服用パターンを確認し、医師または薬剤師が指示した用量を1日1回正しく服用しましょう。

## 毎日お薬を処方された場合



## 1日おきにお薬を処方された場合

